

産業水道委員会

当委員会で審査した案件は、議案12件であり、いずれも原案どおり可決すべきと決定しました。主なものは、次のとおりです。

◎平成23年度総社市一般会計補正予算(第6号)

問 国民宿舎特別会計への繰出金が減額となっているが、理由は何か。

答 指定管理者である株式会社休暇村サービスが、人件費及び維持管理経費を削減したことにより、繰出金を減額したものである。

◎平成23年度総社市公共下水道事業費特別会計補正予算(第3号)

問 国庫補助事業費の大幅な減額による補正とのことだが、減額になった理由は何か。平成24年度以降も考えられることか。

答 今回の補正は、東日本大震災に伴う国の災害地復興への

重点配分に伴う減額である。平成24年度は緊急的な復興への財源について特に聞いていないので、例年どおり県へ要望している。

◎平成24年度総社市農業集落排水事業費特別会計予算

問 最初の区域に施設ができずから、どれくらいの年数が経過しているのか。また、施設の修繕はどのような基準で行っているのか。

答 一番古いもので昭和59年に山手の岡谷、平山、宿地区に施設を整備している。施設の修繕は、耐用年数等による取替えではなく、機器の老朽化により行っている。

◎平成24年度総社市公共下水道事業費特別会計予算

問 平成24年度に新たに管路を整備する予算はどれくらいか。

答 新たな管路整備として、工事請負費2億790万円のうち、約2億円を充てる予定である。

◎平成24年度総社市国民宿舎事業費特別会計予算

問 利用者を増やすため、どのような方法を考えているか。

答 指定管理者に努力していただくことになるが、毎月1回は指定管理者と本市の担当者で打合せをしている。平成23年度は前年度よりセールスを増やし、四季に応じた様々なツアーを行うなど努力している。

◎平成24年度総社市水道事業会計予算

問 赤字を減らす企業努力が必要であるが、簡易水道事業における一般会計からの補助金の推移はどのようになっているのか。

答 平成24年度予算では2億6千万円の予定である。平成12年から毎年昭和簡易水道の工事を行っており、引き続き工事が予定されているため、一般会計からの補助金は、しばらくの間継続するものと思われる。

◎平成24年度総社市工業用水道事業会計予算

問 清音神在本線の整備により、富原水源地の第一取水井を移転することだが、場所はどこになる予定か。

答 現在の第一取水井から10メートル以内の場所であり、ボーリング調査を行い、第一取水井と同等の能力のある井戸が見つかりつつある。

◎平成24年度総社市一般会計予算

問 浄化槽設置整備事業補助金が毎年計上されているが、平成24年度予算ではどのようなになっているか。また、浄化槽設置数の推移はどのようになっているか。

答 毎年概ね110基を、平成24年度も同数を予算計上している。最近の実績では、平成22年度が107基、平成21年度が103基であり、110基以内で納まっている状況である。

建設消防委員会

当委員会で審査した案件は、議案9件であり、いずれも原案どおり可決すべきと決定しました。主なものは、次のとおりです。

◎平成23年度総社市一般会計補正予算(第6号)

問 今年度の清音神在本線改良事業の工期を延長しているが、予定どおり平成26年度に全工程を終了できるのか。

答 平成26年度中に終了すると考えている。

◎総社市営住宅管理条例の一部改正について

問 入居の手続が請書から契約書になった場合、法的な効力はどうなるのか。また、権限委譲により入居の条件を本市で変えられるのか。

答 請書よりは厳格化すると思う。入居の条件は本市で改正できるようにする。

◎平成24年度総社市総社駅南地区土地区画整理事業費特

別会計予算

問 平成24年度末での事業の進捗見込みはどうか。

答 事業費ベースでは92.6%、家屋移転については約96%の見込みである。

◎平成24年度総社市一般会計予算

問 土木担当員からの要望で道路新設、維持、改良費は増えているのか。

答 地域応援課分は平成22、24年は1億1千万円程度で推移しており、変わっていない。市民に身近な予算については減らさないという考え方で予算編成を行っている。

問 市営住宅の滞納の現状と維持管理としてシロアリの駆除を長良と浅尾で行うが、他の市営住宅も行うのか。また、市営住宅の傷み具合はどうか。

答 市営住宅のシロアリの駆除は対象住宅を計画的に行っている。滞納の現状については50万円以上の滞納者が24名いる。行方が分からなくなっ

た入居者については、居所を明らかにするために調査している。また、連帯保証人や親族に連絡を取り、退去の手続をしってもらう。

問 清音神在本線改良事業の今後の予定はどうか。

答 工程表では橋梁の右岸側の上部工は25年度の予定であったが、2年繰上げて発注している。全体の予算の61億円よりは約1割少なく完成すると思われる。今年度、橋脚3基と右岸側の上部工を施工し、来年度は川の中の橋脚2基を予定している。鉄製の橋梁なので、今後、鉄の値段が変われば残金が変わる可能性がある。工事自体は平成26年度末までに全て終わる見込みだが、国からの交付金があることが条件となっている。

問 消防施設費の中で昭和出張所の整備費用はどの程度になっているのか。

答 約3億6600万円のうち、昭和出張所の新築計画で



現在工事中の橋梁

一般会計予算審査特別委員会

当委員会で審査した平成24年度一般会計当初予算は、各分科会での詳細審査の結果を踏まえて、起立採決の結果、起立多数により、原案を可決すべきであると決定いたしました。